

市民参加部会 議事メモ(第 23 回)

市民参加部会を下記のとおり開催します

○日時 令和 6 年 5 月 9 日(木) 13 時 30 分～

○場所 市民活動サポートセンター

<出席者>

市民参加部会： 依田委員・南山委員・谷合委員

市民協働課： 富沢主事

社会福祉協議会： 八東さん

広報委員会(コーディネーター連絡協議会)： 斎木さん

<欠席者>： 柴田委員

配布資料

第 23 回市民参加部会作業スケジュール

(送付用) ワークショップ企画案.doc

ふなばし市民活動フェア特別企画・パフォーマンススケジュール.xlsx

20240501 グループ打ち合わせ議事メモ.docx

次第

I 議題

議題 1 現在進行中の事業の進捗状況について

1. センターイメージチェンジ事業

エスカレーター前に展示されている市民活動パネル展示 5 月分の実物を見ながら展示状況を確認した。また富沢さんより追加募集・応募商況が報告され、7 月分に 1 団体、8 月分に 2 団体の応募があった。残り 8 月分が 1 団体と 9 月分に 1 団体の募集を受け付けている。

議題 2 今後の事業の準備スケジュールについて

1. センターイメージチェンジ事業

ロールカーテンの改修について、様々な検討をしていることが報告された。金銭的なこともあるが、改修の必要性・喫緊性なども考慮して継続審議することとなった。

2. 市民交流参加事業

2-1 夏休み 親子ワークショップ企画について

夏休み親子ワークショップについては 6 月中旬からの申し込み期間を考慮して、広報船橋に掲載する原稿の締め切り(6 月 10 日)を考慮して企画の大枠について議論した。

昨年度のワークショップの反省も踏まえて”市民活動につながる要素”を重視し、8 月中に企画の説明会を 1 回行った上で、実際のワークショップを行うことになった。また、説明会の講師は谷合、ワークショップの担当講師は相澤さんに依頼することになった。また、今回は会場のスペースや制作物の多様性も考慮して小学生とその保護者 20 組を募集する目ことになった。

開催概要

開催日	令和6年 8 月 4 日(日)説明会、18 日(日)ワークショップ
会場・開催時間(予定)	市民活動サポートセンター・13:30~15:30
対象	小学生と保護者
定員	20 組(40 名)
参加費	無料
参加者決定方法	先着順
参加申込み受付期間	6 月中旬から 7 月末締め切り 6 月 15 日号の広報ふなばしで募集開始予定
当日の運営スタッフ	説明会担当谷合・ワークショップ担当相澤さん (可能であれば、資材協力でシモジマ、ワークショップ補助で市民団体)
ワークショップの目的	自分の住んでいる船橋市を知って、子供新聞を作ってみよう。 地域で活動する人たちのことを調べてみよう
具体的なゴール	一人ひとりが自ら調べた市内の課題や問題を題材とした子供新聞を作る。(完成した子供新聞の実物またはコピーを展示する)

補足説明

“子供新聞”という言葉は使っているが、新聞紙面のようなものでもよいし、電車の釣り広告のようなものでもよい。また、より立体的な制作物でもよい。

記事を作成する上で、市民団体の取材や連絡が必要であれば、サポートセンターや市民協働課から情報提供する。

市民参加部会で企画している市民活動初めの一歩企画（これから地域活動を始めたい方を対象とした事業）などについても説明し、自分が住んでいる地域で活動している市民団体を知ってもらう機会づくりにする。

制作物は、夏休みの宿題として学校に提出するが、後日市民活動フェアに合わせて、市民活動サポートセンター内に一定期間展示することを想定していることを伝える。

可能であれば、ワークショップで利用する資材を提供していただけないか、シモジマに依頼する。また、ワークショップ当日のサポートについては関連する活動をしている市民団体にお願いする。

紹介チラシなどの作成は 5 月 20 日 13:30 から市役所で相澤さん・谷合・市民協働課の間で打ち合わせをすることになった。

2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員)

市民活動フェアの特別企画グループの企画内容、フェア当日のスケジュール案などを参考に議論した。特に市民活動フェアとの関連付けについて集中的に議論し、できるだけ多くのターゲット年代の参加者が参加できることを重視して、今回はフェアとはきりはなし、フェアの期間外の土・日に開催することで日程調整をすることになった。

金曜日の夜の枠の活用についても検討したが、想定している年代の参加しやすさを考えるとはじめの一步ワークショップの参加者にとっては、参加しにくくなることが予想され、この時間帯での企画は行わないことになった。

金曜日の夜の時間帯については、企業担当者と市民団体や一般市民との交流企画のようなやわらかい企画がよいのではないかという案もあった。

今回の議論で市民活動はじめの一步ワークショップ企画は、今年度については市民活動フェアの期間外で実施することになったが、参加者にとっては実際の市民活動を知るきっかけとして市民活動フェアに参加することを促すことになった。

フェアの期間中には企画を組み込まないことになったので、6月以降の新期に新しいメンバーでスケジュールについても再検討することになった。

企画1. “地域でつながる活動の始め方”等の内容が含まれる講演会
想定されている講師(案)：和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授)

企画2. ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう！(仮)ワークショップ
想定されている講師(案)：船橋パパ会代表 高橋利明氏+ ワーキングマザーの会
実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞くと共に、参加者同士の情報交換会の場を提供する。

企画3. めざせ地域活動発表会
最後の発表会でどのような Output を求めるかについて、今後検討する。

2025年4月から新規登録・活動団体として動き出せる団体ができることを目指す。

第6期の市民参加部会の部会は今回が最後になる。
2年間部会の活動にご協力いただき、ありがとうございました。

以上